

PFAS・水の会ニュース

—安全な水を求める西東京市民の会(水の会)— 発行責任者:増賀美津子
第14号 2026年4月 e-mail:masugamitsuko@jcom.home.ne.jp



PFAS 水の会 講演会

■ PFAS 相談外来担当医レポート ■

だから、血液検査を！



講師プロフィール

社会医療法人社団健生会 昭島相互診療所 副所長(PFAS 相談外来担当医)

PFAS から昭島市民を守る会 共同代表

2026.4月26日(日)

開場 13:30 開会 14:00~16:00

会場 柳沢公民館 第2会議室

講師 大山 美宏 さん

(昭島相互診療所 副所長)

資料代 300円

参加申し込みは不要ですが、会場が定員30名のため、先着順とさせていただきます。



多摩地区の住民791人のPFAS血中濃度検査の結果では、半数以上が指針値米国アカデミーの基準を上回り、健康被害の恐れがあることが示されました。国は、環境汚染であるが、健康被害ではないと言い切っています。それを打破して、国や東京都を動かして健康被害を止めなければなりません。

(大山美宏さん、インタビュー記事より)

安全な水を求める西東京市民の会では、今年1月17日に東京新聞記者・松島京太さんを講師に、『PFASと米軍基地』のテーマで講演会を行いました。今回の講師は多摩地域のPFAS汚染と健康被害問題に取り組んでいる医師の大山美宏さんです。医療の現場からPFAS汚染の現状を報告していただきます。「血液検査はなぜ必要か」「行政の姿勢を変えるには」など一緒に考えていきましょう。

市民の会:市内全域の PFAS 水質検査を！要請

市長回答:未検査の市保有井戸5か所を修繕し水質検査実施

他市と比べて1年遅れでの検査実施の結果、西東京市の震災用井戸（公園や小学校）13か所中6か所に高濃度のPFAS汚染が判明しました。

驚いたことに、いこいの森公園では環境省の水質基準値50ng/ℓの2.6倍にあたる130ng/ℓが検出され、西東京市でも高濃度のPFAS汚染地下水が流れていることが数値で示されました。

市民の会では、2月27日、池澤市長に西東京市の地下水の数値を知る全市的な検査を急ぐことなど8項目を要請しました。私達は数値で現状把握し市民の健康を守る対策を進めるよう市長と面談し要求します。

◆ 市民の会が出した市長要請の回答文書では

西東京市保有井戸でポンプ故障の井戸5か所の修理をし、その後PFAS水質検査はする。

★私達は高濃度井戸周辺の水質検査をはじめ、子どもの曝露を防ぐ検査を要求します。

◆ 緑環境部 環境政策課に聞いた未実施7か所の検査を早く

ポンプを修理、検査をする5か所 保谷一小 中原小 碧山小 住吉小 青嵐中

ポンプは埋め戻す2か所 保谷二小 東小

PFAS News

ダイキン工業由来の PFAS 汚染が 大阪で公害調停に

摂津市民800人、2025年12月23日

大阪府公害審査会に申請

ダイキン工業淀川製作所は PFAS の一種、PFOA を2021年まで製造。工場内の PFOA は大気や地下水を通じて工場周辺に広がった。環境省の調査で、ダイキン製作所周辺の地下水濃度が全国一高かった。市民は体内に PFOA を取り込んだ健康不安、先祖代々受け継いできた農地の土壌汚染など訴えている。

大企業に向かって声をあげるのをためらう地元住民も、ふるさと摂津にきれいな水と空気を取り戻そうと団結している。

市民が大阪府に公害
調停申立書を提出



PFAS の水道水基準 50ng/ℓ 異議あり 見直し求め全国組織を設立

PFAS問題に取り組む北海道、東京、大阪、沖縄など18都道府県、42の市民団体が「全国PFAS連絡会」(仮称)を設立し、3/19 国会内の会場とオンラインで集会を開きました。

集会に先駆けて、食品安全委と環境省に、水質基準の抜本的な見直しや科学的知見の反映、汚染の実態解明、健康調査の実施などを求めた要望書を提出しました。
(2026.3.21 赤旗)

山用品モンベルでは

近年力を入れているのが、PFAS を使わないウェアの開発です。フッ素化合物は、高いはっ水性を發揮する一方で、自然界で分解されにくく、環境や人体への影響が懸念されています。欧米では、規制が進んでいますが、日本では対応がまだ途上です。モンベルでは数年前から有機フッ素化合物を使用しないウェアやはっ水剤への大幅な切り替えを進めています。

(モンベル広報誌「OUTWARD」2026Spring)